APEX CLUB

'07/6

アペックス産業株式会社

第23号

虫の声

☆「APEX CLUB」No.23をお届けいたします。今号は「会員フォトアルバム」と題し、社内・社外の会員のスナップ写真で表面を飾ってみました。ご投稿くださった方々に深く御礼申し上げます。読者の皆様の中には、自分ならもっといい写真が撮れると自負される方も多いと思います。今回は誘い水の意味も込めております。次回はぜひ皆様も写真をご投稿ください。紙焼き・メールどちらでも結構です。

『APEX CLUB』

発　行　2007年6月1日(通算23号)

発行所　アペックス産業㈱「APEX CLUB」編集委員会

〒105-0014　東京都港区芝2-23-4

電話 03-3455-6474　FAX 03-3455-6558

ホームページ http://www.apex-sangyo.jp

発行人　元木　貢　(編集委員)山口力広、高塚章夫

佐々木 健

(事 務 局)田口久美

ギャラリー

▲近くの芝川で／伊藤進造

▲六本木ヒルズから見た夕日／元木　貢

会　員 フォトアルバム

▲我が家の庭で／伊藤進造

▲オオゴマダラ／洞内悦子

▲フトモモ科マキバブラシの木／田中生男

▲走れＳＬ／高塚章夫

▲京都の小学校にて／山口力広

▲消防庁機械装備大隊の突入訓練／田中　翼

虫めがね

「東西のネズミの話題」

平成十九年三月十三日、ＪＲ東日本の子会社「日本レストランスエンタプライズ」は、同社が駅構内で運営するそば店「あじさい茶屋新小岩店」でネズミの死骸が入った鍋で作ったカレーライスなど十八食を提供していたと発表しました。

同社によると、

「店員が3リットルのカレーをパックから鍋に移し、湯せんしながら調理していた。二時間後、店員が鍋のそこに体長8センチのネズミを発見した」

とのこと。湯せん器は調理台に埋め込まれているタイプで、鍋に蓋はしていなかった。同社では湯せん中にネズミが鍋に落下したとみて、詳しい原因を調べている。

同社は敢えて公表し、自主的に営業を停止してネズミ対策を行うとのことでした。

一方、同じく平成十九二月二十三日にニューヨークのマンハッタンにあるフライドチキンの店で、十二頭あまりのネズミが店内を歩き回っているシーンを鍵のかかったドアごしに撮影したテレビ局が、テレビとインターネットで全世界に放映してしまいました。

さっそく市の衛生局が調査に来て営業停止処分。調査官の話ではネズミはレストランの隙間から侵入したもの。このレストランチェーンでは昨年も大腸菌で七十人以上が発病する事故を起こしたばかりで、株価も大幅に下落したとのことです。

アメリカには、「食品の製造・包装・保管で汚染、不衛生、健康を損なう恐れがあれば、有害と見做し罰則」という日本よりもはるかに厳しい法律があります。